

活動のキーワード

- ① 生き物探し ② 川遊び ③ ごみ拾い

発表内容

TANAKAMI こども環境クラブは、フィールドとして、大津市田上学区を流れている天神川と大戸川について調べています。2020年はコロナ感染対策であまり活動はできなかったけれど、天神川の上流から下流まで各場所で生き物探しや探検などの活動をし、天神川のいいところ、悪いところを見つけました。子どもたち目線からの川の様子と大人目線からの川の在り方を発表します。

活動中の川や水辺の名称

大戸川 天神川

活動内容

子どもたちと大津市南部の田上学区を中心に環境活動や環境調査、自然体験活動を行っています。川の生き物調査、田上山の湿地観察、田んぼの生き物調査、サツマイモの収穫、カヌーを使って琵琶湖調査などしています。今年度は、コロナ感染で自粛になったり休校になったりであまり活動ができませんでした。しかし田んぼの観察は、4月、5月、6月、9月と多くの参加者を得て実施することができました。カエルを中心に観察したのですが、多くのカエルがまだまだ田上にいることが分かりました。川の生き物探し&探検は、河川工事が行われた後生き物探しをしたり、手作りの竿を作って魚釣りをしたりしました。子どもたちと活動していく中で、身近の川が変わっていく様子がよくわかりました。田上山を通る高速道路が建設中です。そのためなのか河川は、水が少なくなり湿地状態のところもあります。河川工事が行われました。かなり土を取り除いていたのでそこにいた生き物がどうなったか心配しています。天神川は、特に夏場キャンプをしに来る人が多くいます。今年は、そんな様子を見に行きました。そのあとに膨大なゴミが残されているのを知りました。私たちの身近な川の今後はどうなっていくのか考えました。ごみ拾いを楽しく行おうと考えています。

よいとこ探しキーワード メモ！

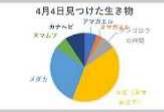


環境科学センターの佐藤氏に天神川の現状を見てもらいました。(4・2)

開始

2020年度

田んぼの生き物4/4



コロナ感染防止のため
学校は、休校で活動もお休み

田んぼ

今年天神川に
お訪し入った
生き物多しの
では無いかな？

7月

→ 8月

5月30日(土)

アマガエル(オタマジャクシ)	ヌマガエル
ヌマガエル	ナゴヤダルマガエル
トノサマガエル	ドンコ
ザリガニ	カワムツ
サワガニ	ヌマムツ
メダカ	オイカワ(オス)
マルタニシ	メダカ
カワニナ	ヌマエビ
アメンボ	ザリガニ
カブトエビ	ギンブナ
カイエビ	ギギ
ミジンコ	ナマズ
	シマドジョウ
	イトトンボの仲間(ヤゴ)
	シオカラトンボ(ヤゴ)
	ヤンマの仲間(ヤゴ)



ベータ



川掃除
9月12日

川

田んぼの
生き物探し
9月27日

カエル	
トノサマガエル	9
ヌマガエル	5
ヘビ	
ヒバカリ(小)	2
魚	
メダカ	多数
ヌマムツ	1
ヨシノボリ	1
エビ	
カワリヌマエビ	多数
スジエビ	1
アメリカザリガニ	4
その他	
ヤゴ(ギンヤンマ)	2
カワニナ	多数
タニシ	多数
サワガニ	1
カナヘビ	1

9月27日
田んぼの生き物

終了

2021年度は、
ごみ袋無した、
きれいな川を
目指した行動

田んぼの生き物
6月27日

ヨシノボリ	トノサマガエル	ミナミヌマエビ	タイコウチ	マシジミ	アカネズミ2匹
マドジョウ	アマガエル	サワガニ	カマキリ	カワニナ	
メダカ	ヌマガエル(青色)	アメリカザリガニ			
ドンコ	オタマジャクシ(トノサマガエル)				
ヌマムツ					

天神川×田んぼ=水辺 

こせも環境クラブ

B-2 米川を歩く会

活動のキーワード

- ① 米川 ② 川まちづくり ③ 流域治水

発表内容

川をざぶざぶと歩くだけで、たくさんのイイ事があるのを知っていますか？

実は、川の中を歩くことで、河床の藻がとれ、小鮎が産卵しやすい環境が作られます。また、子どもたちと一緒に歩けば、子どもたちの、自然を大切にする心が育ちます。さらに、川と町の歴史を肌で感じ、学ぶことができます。現在、気候変動の影響で、川が氾濫することがあり、川が嫌な存在だと考えられることがあります。しかし、歩いてみれば、先人たちが米川からの恵を受け、上手に付き合っていたことが分かります。今こそ私たちは、その知恵を活かして、町と川が一体となったまちづくりに関心を向けるべきだと考えます。

活動中の川や水辺の名称

米川(長浜市中心市街地)

よいとこ探しキーワード メモ！

